

健口だより

第35号

平成29年11月1日

発行者 日高歯科医師会 西川一雄
 発行所 幌泉郡えりも町大和324
 TEL 01466(2)3355

「歯周病と全身疾患の関連について」

皆様は歯周病という言葉はCMなどでよく耳にすることと思いますが、歯周病はお口の中だけでなく、身体のような状態に影響を及ぼすことを御存知でしたか？ちなみに歯周病とは細菌によって引き起こされる感染症で、初めは歯肉のみの炎症(歯肉炎)ですが、進行すると歯を支える骨を溶かす歯周炎となり、最後には歯が抜け落ちる、または歯を抜かなければならなくなる病気です。

☆歯周病が全身に及ぼす影響

■心疾患、脳血管疾患

歯周病原因菌などの刺激により動脈硬化を誘導する物質が出て、血管内に粥状の脂肪性沈着物(プラーク)が出来、血液の通り道が細くなり、さらにプラークが剥がれて血の塊が出来る、その場で血管が詰まるか血管の細いところで詰まってしまう。また歯周病の人はそうでない人の2.8倍、脳梗塞になりやすいと言われてます。

■糖尿病

歯周病は以前から糖尿病の合併症の一つと言

われてきましたが、最近では歯周病になると糖尿病の症状が悪化するという逆の関係も明らかになってきており、歯周病治療で糖尿病も改善することもわかってきています。

■誤嚥性肺炎

誤嚥性肺炎とは生理的機能の衰えにより、自らの唾液や食べ物が入ることによって起きてしまう肺炎で、唾液中の細菌が主な原因であり、その細菌の多くは歯周病菌であると言われています。

■低体重児早産

妊娠中の女性で歯周病の人は、そうでない女性に比べて、低体重児及び早産の危険度が高くなる事が報告されています。その危険率はタバコ、アルコールなどと比べると約7倍になると言われています。

■骨粗鬆症

全身の骨が脆くなると、歯を支える骨(歯槽骨)も脆くなります。特に閉経後骨粗鬆症の患者においては、エストロゲン(女性ホルモン)の欠乏により、歯周病の進行が加速されると考えられています。



ます。ちなみに、骨粗鬆症の薬として用いられるB P製剤を服用または注射している方が抜歯などをした場合、そ

の周囲の骨が壊死するなどのケースが報告されていますので、歯科受診する際には、お薬手帳を持参する等、骨粗鬆症の治療をしていることをお伝え下さい。

☆歯周病がアルツハイマー病に関連

アルツハイマー病とは、徐々に脳細胞が死滅していく、脳の神経細胞が減少し、脳の中で記憶を形成するのに必要な海馬と呼ばれるところを中心に、脳が萎縮するという様な変化が現れる病気で、認知症患者の約7割はアルツハイマー型認知症と推定されています。

今年5月に日本大学歯学部落合邦康特任教授らの研究チームによる研究で、歯周病を放置すれば、歯周病菌が産出する酪酸というものが、アルツハイマー病の発症リスクを高めるとす

